

映像・現代文化論講演会

活動写真弁士 片岡一郎氏実演会

数少ない現役活動写真弁士の
第一人者を迎え、各種ジャンルの映
画を実演付きで上映！

※来聴歓迎・聴講無料・事前申込不要



◎日時 2020年1月10日（金）17:00～18:30

◎会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W201/W202教室

《次第》

前説（まえせつ）

演目・時代劇 マキノ正博監督『血煙高田の馬場』（1937）11分

- ・アニメーション 紙フィルム『スタコラサッチャン大手柄』（昭和初期）2分
- ・現代劇 小津安二郎監督『大学は出たけれど』（1929）17分
- ・コメディ：バスター・キートン『キートンの文化生活一週間』（1920）22分

トーク（司会・小川佐和子）

質疑応答



片岡一郎（かたおか・いちろう）氏 1977年東京生。日本大学芸術学部演劇学科卒業後、活動写真弁士の第一人者である澤登翠に入門。澤登門下総領弟子。バイオリン演歌を福岡詩二、紙芝居を秋山栄に師事。レパートリーは日本映画・洋画・中国映画・アニメ・記録映画と多岐にわたり、総演目数は約350作品に上る。日・米・独・加・豪・伊・クロアチアなど18カ国で公演。その他、執筆や舞台出演、声優業もこなす。失われたフィルムの発掘にも尽力し、これまでに『Our pet』『私のパパさんママが好き』『忠臣蔵』などのフィルムを発見した。周防正行監督作品『カツベン!』では出演のほか、主要キャストへの実演指導を行う。赤石路代の漫画作品『めくらむ 大正キネマ浪漫』では時代考証で協力した。

主催 北海道大学映像・現代文化論学会

事務局 北海道大学大学院 文学研究院 映像・現代文化論研究室

連絡先 研究室主任・中村三春 miharu【@】let.hokudai.ac.jp